

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月27日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	下水道収益事業（3条）	コード	95701
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 建設水道部	課等 水道課	作成者 武居 浩史
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	上下水道の整備・維持
		予算科目	下水道事業会計	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		根拠法令	下水道法		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	下水道事業の健全経営と効率的な事業運営により、安全快適な生活環境を整備維持する。		
目的	対象者	岡谷市民	
	意 図	安心して下水道利用できるよう整備する。	

5 事業の実施内容	*28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
平成29年度の有収水量は 5,615,995 <sup>m</sup> となり、収益的収入 1,655,031,982円に対して、収益的支出は 1,441,626,827円となり、差引き 213,405,155円の純利益となった（税抜き）。 収益のうち下水道使用料は 960,846,887円で、前年度比 10,344,465円の減収となった。			
前年度の課題への対応	年間有収汚水量が減少傾向にあるため経費削減等を図った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標（指標名）	市民が1年間に下水道に排出した汚水の総量			単位 m <sup>3</sup>
実績値	5,701,560	5,687,415	5,615,995	
*指標の説明	下水道年間有収汚水量			
② 成果指標（指標名）	下水道使用料単価			単位 円
目標値	171	171	171	171
実績値	171	171	171	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
*指標の説明	汚水 1 m <sup>3</sup> あたりの売上単価			
*目標値の設定方法の説明	当初予算における下水道使用料単価（下水道使用料/年間有収汚水量）			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,081,479,476	1,056,623,426	1,037,231,536	1,081,376,000
経常経費	1,081,479,476	1,056,623,426	1,037,231,536	1,081,376,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	72,000,000	72,000,000	72,000,000	72,000,000
正規職員の人数(人)	9.00	9.00	9.00	9.00
③ 合計コスト(①+②)	1,153,479,476	1,128,623,426	1,109,231,536	1,153,376,000
前年度比		97.8%	98.3%	104.0%
財源	0	0	0	0
一般財源				
内訳	1,153,479,476	1,128,623,426	1,109,231,536	1,153,376,000
特定財源				
* 特定財源の説明	下水道使用料、一般会計負担金、一般会計補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	202	198	198	
前年度比		98.1%	99.5%	
⑤ コストに関する補足説明	汚水1m <sup>3</sup> あたりの汚水処理原価（(総費用－原価対象外費用)/汚水量）			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
流域下水道維持管理費負担金	件数	1	1	1	1
	金額	303,760,649	325,716,211	326,871,665	329,427,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	303,760,649	325,716,211	326,871,665	329,427,000
	割合	28.09%	30.83%	31.51%	30.46%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性＝成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 年間有収汚水量は減少傾向にあり、施設においては老朽化が進んでいる。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 経常経費の削減はもとより、施設の計画的な長寿命化を推進する。	
改善方法		
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---